日本キリスト教団 東金教会〔２７〕

2017年7月2日 聖霊降臨節第５主日礼拝

年度目標　《神と共に闘う信仰者》

聖　句　しっかりと立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。　エフェソ書６章１３節

【礼拝式次第】

司式	岡村
奏楽	中里
受付	深山上
案内	井中
名札係	宮田
礼拝感謝祈祷	武藤田
〃　〃	

前奏		中里
讃美歌	３０	一同
信仰告白		〃
交読文	２６	司・会衆
主の祈り	５６４	一同
聖書	ローマ書11：25～36	司会者
祈祷		岡村
新聖歌	２０５	一同
み言葉の伝え	「不服従と憐れみ」	中村征一郎
讃美歌	２９４	一同
聖餐式	配餐……	安井上
	祈祷……	藤田児保
讃美歌	３５２	一同
献金		
礼拝感謝		武藤田
〃　〃		
報告		岡村
頌栄	５４１	一同
祝祷(派遣)		中村征一郎
後奏	新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会　7月5日(水)午後7時半
早天祈祷会　月-金7時(除祭日)メーヤー館
聖書輪読会　7月9日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会　7月9日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日は教会清掃日です。お時間のあります方はご奉仕宜しくお願い致します。
☆６月献金報告が週報棚に入っております。
☆市川東教会より会堂献堂のお礼状がきております。掲示板をご覧下さい。
☆先週の千葉支区の日献金は38,800円でした。千葉支区諸教会・伝道所の御用に用いさせて頂きます。
☆6月26日持たれました伝道協議会は42教会102名の参加を見、良き学びを持つことを得ました。
☆７月１６日は朴　牧師が講壇をお守りします。又、７月３０日は梅田　先生に講壇をお守り戴きます。祈りの内にお覚え下さい。
☆教会祈祷課題表のご提出宜しくお願い致します。お一人でも多くの方が原稿をお寄せ下さり、共に祈り、支え合って行けたらと願っております。
☆「朱鷺が峯」の原稿を募集しております。今回は「朴　牧師就任特集号」としての発刊であり、先生のご就任に対するお祝いや希望、あるいはこれからの東金教会についてのご意見等が原稿が中心です。もちろんこれ以外の原稿も大歓迎です。宜しくお願い致します。
☆7月17日(月・海の日)午前１０時よりメーヤー館にて「東総分区信徒の交わり」を開催します。今年はルターによる宗教改革５００年を覚え、当時の讃美歌を讃美しつつ、1500年代以降の教会と讃美歌の関わり等を齋藤　姉(　教会員)にご講演いただきます。是非お出かけ下さい。
※このたび岩崎　姉がご自身の過ぎ来しかたを振り返った文集「安息日を前にして」を上梓され、教会にも数冊御寄贈下さいました。講読を希望される方は受付にございます貸出票に氏名等をご記入の上、貸出をお受け下さい。

【7月2日～7月8日の誕生者】

○小原　兄　○土屋　兄　○戸波　兄
○深山　兄　○小原　君　○土屋　君
○山崎　君　※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【分区・支区・教区報告】

○東総分区牧師会　7/11　10:30　於・長生教会

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(6/25)	17	30	47
聖研祈祷会(6/28)	3	4	7
聖書輪読会(6/25)	3	1	4
教会学校(6/25)	12	16	28
山田台集会(6/27)	5	9	14

早天祈祷会			
日	男	女	計
6/26	1	2	3
6/27	1	2	3
6/28	1	2	3
6/29	1	2	3
6/30	1	3	4

主日礼拝献金(6/25)……29,000円
教会学校献金(6/25)……6,950円

【今日のメッセージ】

題［不服従と憐れみ］
聖　書　ローマ書11：２５～３６

1.不従順を通して

2.贖う者

3.全てを神に

【次週(7月9日)礼拝案内】

題　［役割を戴いて］
聖　書　ローマ書１２:1～8
交読文　２７
讃美歌　５４番　４９４番
新聖歌　３８番

【次週(７月９日)礼拝当番者】

御言葉の伝え	…中村征一郎
司式者	…安延
奏楽者	…中村
受付者	…鈴木
案内者	…寺内
名札当番	…岡部
礼拝感謝祈祷	…石山
〃　〃	…児保
cs お話し	…安延
会堂清掃者	…岡部
〃　〃	…深山
花係	…岡部
看板書き	…藤田

【聖書から】

だから、神の慈しみと厳しさを考えなさい。倒れた者達に対しては厳しさがあり、神の慈しみにとどまるかぎり、あなたに対しては慈しみがあるのです。もしとどまらないなら。あなたも切り取られるでしょう。

ローマ一一章二二節

神の厳しさと慈しみを知れ！、とパウロは言う。この言葉を前にして、私達はなにを思うだろうか。私が思うのは何よりも己の甘さである。私たちは神の慈しみを求めに求め、神の厳しさには目をそむけるものではなかろうか。そして神の厳しさをまともに見ないと言うことは、神を甘く見ていると言うことに他ならない。まともに神を信じていないのである。自分の都合の良いようにしか信じていない。そして自分に都合の悪いことは「このぐらいは神さまも赦してくださるだろう」と頬かむりをしてやり過ごそうとする。私たちはなんと都合の良い信じ方をしているであろうか。このような信じ方をしている私たちにはパウロのことばは耳に痛い。しかし少しずつ、少しずつ、信仰が増すにつれて、そういった己のいい加減さが分かって来るのが信仰である。パウロは今、ローマの信徒たちに忠告をしている。「神を神としてあがめよ。真実をつくせ、己の甘さに逃げ込むな、安易な赦しを自分に与えるな！」と。けれどもパウロとて恐らくそのような道を辿って来たであろうし、今も辿りつつあることを自覚していたのではなかろうか。人が人である限り、人は神の前に真実であり続けることは出来ない。たとえ神のために殉教の死を遂げたような人であっても、神に対して全き真実を持つことは出来ない。人はそういう者だと思う。けれどもそういう者であることを自覚しつつ、何とか神のご期待に添いたい、少しでも真実な者になりたい、と思うところに信仰者の歩みがあるのではなかろうか。罪を犯しつつ、不真実でありつつ、それでも神の御前を去ろうとしない者、神はそのような者を慈しむ。そのような信仰者になりたいのである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。